



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒 803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093 - 592 - 5000 FAX 093 - 571 - 4346

北九州市民の会

検索

WEB : <http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail : koe@siminnokai.com



JMITU福岡県本部が定期大会

JMITU 福岡県本部は、3月15日10時から、地区労連事務所で開催しました。大会には、JMITU 中央本部の三木委員長、北九州地区労連永吉事務局長が来賓として参加、挨拶と激励を行いました。大会は、方針提案後、全ての加盟組織がこれまでのたたかい、これからの運動などについて発言がありました。



2020年「平和のための戦争展」第1回実行委員会

3月18日(水)、戦争展第1回実行委員会が開催され、10名の実行委員の皆さんが熱心に討議し、戦争展企画の概要が決定されました。

日程：8月29日(土)30日(日)10:00～17:00

会場：黒崎コムシティ

記念講演、語り部、青年企画(こどもの館)展示(プレイルーム)

29日に記念講演、語り部、青年企画を集中させる

役員：実行委員長 三輪俊和

副実行委員長 原田祥昌

事務局長 西健一郎

事務局次長 渡辺絢子、香川康夫

第2回実行委員会 4月16日(木)18:30 市民の会事務所



第91回北九州統一メーデー開催を確認

第91回北九州統一メーデー実行委員会(永富雅生議長)は、3月23日第1回実行委員会を開き、第91回北九州統一メーデーを5月1日(金)10時から小倉北区図書館横広場で開催することを満場一致で確認しました。実行委員会には15団体21人が参加し、開会前に北九州のうたごえ堤さんの歌唱指導で、「全国一律最賃音頭」「インターナショナル」の2曲を元気いっぱい会場に響かせた後、永富議長挨拶、その後永吉事務局長が3月6日開催の事務局会議報告とこれからの取り組みについてレジメに基づいて提案。協議に入りました。提案の内容は、①開催日程及び会場、②スタート集会について、③メーデー開催の意義と取り組み、④メーデースローガン(基本スローガン及びサブスローガン)、⑤メーデー財政、⑥運営要綱と役員体制、⑦参加目標と来賓、⑧これからの日程などについて詳しく説明があり、参加した実行委員から質問や意見が沢山出され、満場一致で確認されました。



今年のメーデーの特徴は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大きな広がりを見せ、集会や会議、イベント等の開催自粛が呼びかけられるというこれまでにない状況の中での開催となります。実行委員会での十分な協議で、「困難を克服し大きな成功を収める」為に実行委員会参加団体がしっかりと団結し全力をあげて奮闘することが求められています。又、コロナウイルス感染症の広がりによっては、何が起るかわからない状況もあり、どのような事態になっても対応できるようにしていかなければなりません。

第2回実行委員会は、4月6日(月)18時30分から小倉北生涯学習総合センター1階会議室で行う予定です。(堀田和夫氏 FBより)

20年度予算成立 経済失政への反省が全くない

昨年10月からの消費税の増税が消費不況を顕在化させ、新型コロナウイルスの感染拡大が世界でも日本でも新たな経済危機を招く中、20年度の政府予算が自民・公明の与党の賛成多数で成立しました。同予算は、消費税頼みの傾向を強めるとともに、新型コロナウイルス対策にまともな手だてもしていない問題だらけの内容です。日本共産党など野党が求めた抜本修正を行わず、成立を強行した与党の責任は重大です。苦境に立つ国民の暮らしを真剣に支える政治への転換が不可欠です。

「アベノミクス」の破綻

(中略)

安倍政権は、消費税増税を強行したことには全く反省もなく、破綻した「アベノミクス」をさらに進める姿勢を変えません。102兆円を超す20年度予算で、軍事費に過去最大の5兆円余りを投じる一方、社会保障費の伸びはカットする冷たさです。新型コロナ対策には、予備費の範囲内で対応しただけで、当初予算の組み替えや修正は一切応じませんでした。安倍政権の後手後手の姿勢は、大問題です。

消費税減税の決断を

安倍政権は予算成立後、20年度補正予算を編成し、新型コロナへの対策をとっています。一律休校の要請やイベント自粛で仕事や収入を失った事業者や働く人への直接支援や所得補償などが緊急に必要です。

いま急がれるのは、国民の暮らしを力強く支えるための政治の決断です。経済の危機打開に最も効果的な対策は消費税を5%に減税することです。その実現を求める世論と運動を広げましょう。(赤旗3月26日「主張」より)

北九州市がコロナウイルス感染対策のホームページ立ち上げ

新型コロナウイルスについて

- 新型コロナウイルス感染症とは
- 日常生活で気を付けること
- 簡易布マスクと消毒液の作り方
- 集団感染を防ぐために
- 厚生労働省が情報の収集・公開を行っています
- 電話等で相談できます
- Foreign Language (外国人の皆さまへ)
- 家族に感染が疑われる方がいる場合



くらしに関する情報

- 市主催イベントの中止・延期
- 公共施設の臨時休館
- 市立学校の一斉休校
- 放課後児童クラブの一時受入
- 放課後等デイサービス利用世帯の負担軽減
- 厚生労働省のQ&A
- 生活が困窮している方は
- 生活困窮者自立支援、生活福祉資金(緊急 小口資金)
- 市税納付の猶予
- 市営住宅等家賃の減免・徴収猶予、市営住宅等の提供
- 水道料金等の支払期限の延長(猶予)
- 消費生活センターからのお願い
- 人権への配慮を



<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18901196.html>

不当解雇撤回を求める争議支援行動

3月28日16時から、全国一般ユニオン支部新物流サービス分会の不当解雇撤回争議支援行動が、八幡東区前田にある北九州低温輸送前の道路で開かれました。冷たい雨が降る中、ユニオン北九州、自治労全国一般、北九州共闘センター、北九州地区労連など地域のたたかう仲間が沢山参加しました。支援集会は、ユニオン北九州の見口さんの司会。本村委員長が「1月15日に突然の事業場閉鎖、整理解雇4要件を無視し、30人の従業員全員解雇を通告。ユニオン北九州に結集する3人の組合員は不当な解雇通告に抗議しストライキや就労闘争を続け、今回で10回の抗議、支援集会を執行している」と経過報告。ついで、支援者を代表して自治労全国一般山岡委員長、北九州共闘竹内議長、北九州地区労連永吉事務局長が、不当な解雇を撤回させ勝利するまで全力で支援する決意を表明しました。その後3人のたたかう仲間からそれぞれ決意が述べられ、ユニオン北九州書記長の音頭で「団結がんばろう」を唱和して閉会、胸の高まりを覚えた支援集会でした。



個人事業主にも傷病手当金支給を！

4月3日に民主商工会北九州市協議会と北九州市社会保障推進協議会で、厚労省から出されたコロナウィルスに感染した被用者に対する傷病手当金支給の通達に伴い北九州市長宛に「個人事業主を傷病手当金の支給対象にするよう国保条例の改正を求める要請書」を提出し、保険年金課と懇談をおこないました。当日は県商連会長をはじめ民商北九州事務局長や各区民商の代表と北九州社保協を合わせ7名が参加。市側は課長と係長が対応しました。懇談の中で「コロナの影響で仕事が激減し、このままでは事業の存続が危ぶまれる」「従業員の生活は何としても守らなければならないが、自身の生活がどうなるのか不安」といった個人事業主から切実な相談が上がっていることを紹介。「国保加入の個人事業主は一般企業と違って経営者と言っても境遇や立場は被用者と変わらないとして、国の通知通り北九州市でも国保加入の個人事業主にも傷病手当支給の道を開いてほしい」と訴えました。市側からは「窮状は理解している。ただ、条令改正を伴うものなので直ぐに返事が出来るものではない」との答弁がありましたが、「待ったなしの状況を踏まえ専決処分も視野に、ぜひ早期の対応を」との要請に「うえにも実情を報告し、前向きに検討したい」との話がありました。緊急事態宣言も出され、ますます経済状況は悪化していくことが予想されます。特に個人事業主やフリーランスなど弱い立場の労働者が不利益を被ることの無き様、雇用と暮らしを守ることを大前提に引き続き活動をすすめていこうと思います。



(北九州市社会保障推進協議会 岡本氏より)

メーデー中止に

4月6日(月)18時30分から、第91回北九州統一メーデー実行委員会が開かれ16団体19人が参加しました。実行委員会は、永富実行委員長が開会あいさつをおこない、実行委員会への報告・提案は永吉事務局長が行いました。永吉事務局長は、コロナウィルス感染症が猛威を振るい、非常事態宣言が明日にも出される現状を踏まえ、「第91回北九州統一メーデー開催を断念するしかない。」と苦渋の方針(案)を提案しました。参加実行委員からは、様々な意見が出されましたが、最終的に事務局方針を受け入れ、第91回北九州統一メーデーの中止を確認しました。コロナウィルス感染症対策や憲法改悪をあきらめていない安倍内閣の動向を見据え、実行委員会は継続して残し、引き続き取り組みを強めていくことが確認されました。

(堀田和夫氏FBより)



高齢者福祉乗車券の署名が進む！

■ 戸畑区民の会

スピナ構内を借りての署名

3月28日、新婦人戸畑支部は鞘ヶ谷スピナの了解を得て、構内でテーブルを出して、雨の中での署名でしたが42筆が集まりました。共産党の後援会ニュース「とばたの風」に3種類の署名用紙に返信用封筒をそえて、2月中旬から約4000枚を配布し、3月31日現在で151通で450筆の返信がありました。



■ 八幡東区民の会

出かければ署名がいただけることを実感

商店街訪問でクリーニング店に署名用紙を預け25筆を集めてくれました。新婦人は、市営団地の高台を訪問して26筆を集め、出かければ署名がいただけることを実感しています。また、新婦人支部ニュースで他都市の実施状況や活動を紹介して、活動参加の輪を広げる取り組みをしています。4月4日コロナウィルスの感染拡大が厳しくなった中でしたが当初の予定通り大谷市民センターで短時間の許可を得て学習会を開催しました。自主的時間短縮で質問や意見などが効くことができませんでしたが、講師の藤本市議を含め15名の参加。その後中央町商店街で街頭宣伝を行いました。



■ 門司区民の会

運動の意義と意思統一が大事

この署名は足を踏み出せば広がるし、高齢者の足の確保が住民の共通の認識になっていると感じます。運動の遅れはコロナの影響もあるかもしれないが、この署名の意義や位置づけが意思統一されていないことが大きいのではないと思う。門司区民の会も学習会を契機に飛躍させていきたい。松ヶ江後援会は、現在478筆で1000目標の47%。「スーパーや医者通いが大変になった」「免許書も返納したので市民センターのクラブ活動もやめた」などの声が寄せられ、この署名はグッドタイミング。比較的若い人も高齢化を心配して「明日は我が身だ」と署名してくれます。取り組みにあたって①住民の切実な要求にこたえる活動であること。②地域で活動することで、信頼され結びつきも広がっていく活動であり、③このつながりを今後の活動に生かしていこうと話合っています。そのために吉志1丁目から7丁目まで全戸訪問して署名を預けて後日回収しています。署名は2種類(改憲NO署名)取り組んでいます。訪問すると地元の水路の改善や街路灯設置などの要望も出されるなど総合活動となっています。これを門司区全体のものにしていきたい。

■ 八幡西区民の会

赤旗読者から150筆を集める

9団体中4団体、15地域中7地域での集約ができています。2月に学習会を開催して署名用紙をおろして、それぞれが取り組んできました。八幡西民商は、確定申告の会場で取り組みで約200筆集まり合計で480筆となっています。地域では上津役支部がしんぶん赤旗に折込みをして集金や訪問で訴えて、読者から署名150筆を集め署名内容が歓迎されています。

■ 若松区民の会

自治区会での取り組みに

山内市議が各団体へ出前講演を行うなど、署名を配布した段階で集約できていません。区民の会は返信用封筒を作成して、次の幹事会で地図を用意して山坂の地域への全戸配布を計画。自治区会にも申し入れを行い、深町校区の自治区会が取り扱い団体の名前を掲載して取り組んでいます。市営バスは今年度10人乗りバスを運行する計画で、この課題とリンクした地域の課題として取り組んでいきたい。

■ 女性の会

3月18日、幹事会を開催して各区の状況を報告し交流し、集約はダブりますが1461筆です。2本の横断幕を作成して4月11日(土)11時から街頭宣伝を計画していましたが延期することにしました。タクシー会社を訪問する取組みでは、門司区と八幡東区が訪問して署名の依頼を行っています。